

2022 年度学力試験問題の「出題意図」・「評価ポイント」について

英 語 【昼間・夜間主コース 一般選抜：前期日程】

大学入学共通テストでは十分に確かめることができない英文の読解・内容把握、英語による表現・記述力等をみることに主眼を置いています。

	出題意図	評価ポイント
問題 1	まとまった分量の英文を正確に読み取り、指定された解答を導く疑問文を英語で書かせる問題である。文章読解力に加え、コミュニケーションとして各種の疑問文を的確に作成するだけの英語運用能力があるかどうかを試す。	英文内容を正しく理解し、適切な疑問詞を用いて文法的にも正確な質問文を作成できているか、またその際に英語本文を単に書き写すのではなく質問の主旨に合った語彙選択ができているかを中心的に評価した。
問題 2	英文の読解力を試す上で、文章の内容を英語で説明できるだけの英語運用能力があるかどうかをみる。	書かれている英語を別の英語に置き換え表現する力、文章全体の主題を読みとり自分の言葉でそれを言い換える力、文章から推論し、結論を導き出す能力、文章を簡潔な英文で要約する力を重要視した。
問題 3	英語で書かれた文章を正確に読みとり、その内容の真偽について判断する能力を試す。文章の内容に応じて誤りを修正する力をみる。文脈から推論し、結論を導き出す能力も調査する。	英文の内容について、その真偽を判断するとともに、間違いを的確に修正できているかどうかを評価した。文法的な間違いは減点の対象になるが、英文の内容とは異なる内容を作文した場合は、得点とならない。また設問の文章が否定文なら not などの否定語を省くだけ、肯定文なら not など否定語を加えるだけでも得点とならない。内容を理解した上での訂正が必要となる。
問題 4	日常生活のさまざまな場面で使われる対話に関して、文脈を適切に理解し、その文脈に応じて適切な文法で、より自然な英語で会話文を作成する力をみる。	対話の流れを把握し、適切な文脈の意味理解と文脈に応じた英語で適切な受け応えができているかどうかを評価した。文法的に軽微な誤りは減点の対象となり、また文脈に合う適切な解答や質問の文が書かれていなければ文法的には正しくても得点とならない。

<p>問題5</p>	<p>大学のさまざまな分野で学ぶために必要な英語の作文力をみる。特に質問文を熟読し言語の文体や体裁に気を付けながら、文字数を戦略的に考えて文章を書く力もみている。(a)では、提示された3点から1つを選び、それについて首尾一貫した英文で説明する。適切な語彙や表現の使用、文法上の正確さを加味しつつ、論理的な文章を作成できているかどうかを試す。</p> <p>(b)では、適切な語彙や表現の使用、文法的な正確さを考慮し、自分の考えを論理的に英語で表現する能力があるかどうかを試す。</p>	<p>適切な英語で自分の考えを論理的に表現・記述しているかどうかを評価した。したがって問題文の単なる書き写しは作文ではないことに留意すること。高得点を得るには、適切な語彙や接続詞や文体が使用され、単純な文法や構造を多用せず、高等学校の英語で習得した文法や構文も正しく用いる必要がある。つづりの間違い、句読点法のミスは減点対象とした。質問と無関係な作文は、得点とならない。また、この問題では、受験者がどれだけ論理的に表現できているか、適切な助動詞を使えるか、が問われる。</p>
------------	--	--